

## 第36回 通常全体協議会 報告書

日 時	令和元年 5月30日 (木) 13:30~16:00
場 所	大阪市淀川区宮原4丁目2番1号 メルパルク大阪 3階 フォンテーヌ
出席会員数	出席会員 19社・27名 (会員、役員のみ) 委任状提出会員 9社 計 28社 (出席率100.0%) 支部会員数 28社

### 1. 開会

司会者より令和元年度全体協議会開会の挨拶が行われた。

### 2. 全体協議会成立報告

全体協議会の成立について、出席会員数は委任状を含み27社であり、支部会員全社28社の2分の1以上の出席を得ており、支部運営規則25条により全体協議会は成立しているとの報告が司会者からあった。(その後、1社の出席があり全社の出席となった。)

### 3. 支部長挨拶

全体協議会の開会にあたって、北支部長が挨拶を行った。

多用中にもかかわらず第36回通常全体協議会に多数の皆さんに出席していただいたことと、協会活動に日頃からご支援ご理解いただいたことへのお礼の挨拶のあと、新しく迎えた令和の時代は、少子高齢化、働き方改革、2020年問題、AIやICTといった最新技術との共生、更には最近の頻発する自然災害や10月の消費税率アップなど、影響の予測が困難な要因が多く、上下水道インフラが抱える「ヒト・モノ・カネ」の山積する課題を複雑化、高度化させているとの認識を示し、従来とは異なる競争や異業種との連携な



ど、社会構造の変革を伴う新たな仕組み作りを行う、正に新しい時代のスタートと捉え、課題解決に取り組まなければならないとの考えを示した。

本日の全体協議会の内容は、平成30年度の事業報告と、令和元年度の事業計画などについて5つの議案として提示し、限られた時間内ではあるが、積極的な審議により、有意義な時間にしたいとの希望を述べた。

#### 4. 議長選出

司会者より、支部運営規則第15条において、支部長は全体協議会の議長になると定められているとの報告があり、北支部長が議長席に着き、議事に入った。

#### 5. 議事録署名人選出

北支部長が議長となり、支部運営規則第27条に基づく本全体協議会の議事録署名人に次の2名の幹事を指名した。

幹事 今野 和弘 (株式会社 日水コン 大阪支所 執行役員大阪支所長)  
幹事 依藤 弘志 (株式会社 ニュージェック 品質管理グループ  
グループマネジャー)

#### 6. 議 事

##### (1) 第1号議案 平成30年度事業報告

議案に基づき、北支部長が「平成30年度事業報告」を行い、依藤副支部長が「平成30年度一般会務報告」として、①会員の動き、②会議、③事業、④PR活動、⑤発注者との意見交換活動結果、⑥関西支部及び本部活動結果一覧について報告を行った。

続いて、「部会・委員会報告」として各部会・委員会の活動について、議案に沿って、各部長、委員長、委員が、①総務部会・委員会の報告、②広報部会・(本部)水坤編集部会の報告、③倫理部会・委員会の報告、④上水道部会・委員



会の報告、⑤下水道部会・委員会の報告、⑥技術部会・技術・研修委員会の報告、⑦対外活動部会・委員会の報告、⑧災害時支援部会・委員会の報告、⑨JS協議特別部会の報告、⑩人材確保特別部会の報告、⑪受託調査研究委員会の報告を行った。

## (2) 第2号議案 平成30年度決算報告

議案に沿って、高橋事務長が「平成30年度決算報告」として平成30年度の決算について、「決算概要」、「決算総括」、「財産目録」及び「会計検査」の報告を行った。報告の要旨は次のとおり。

### ① 収入

- ・会費収入は入退会はなく、決算額は予算と同額であった。
- ・本部交付金は、交付金59万円と社会貢献事業支援金の約8万円が助成され、予算より約7万円増の約67万円であった。
- ・その他収入の雑収入は全体協議会、下水道懇談会などの懇親会々費と利息を含み約41万円で、実質収入合計は予算に対して約23万円増の約637万円となった。

### ② 支出

- ・調査研究では、「水坤」の送料値上げの約5万円増と、ホームページの委託費が「ファイル保管庫」作成追加で約5万円増となり、合計で約10万円の予算超過となった。
- ・要望活動では、2府4県意見交換活動の「要望と提案」資料コピー費用を確保したが約8万円の予算余りとなり、下水道懇談会は会場費で約4万円の予算超過であったため、合計で4万円の予算余りであった。  
下水道懇談会は、懇親会参加費で約8万円の収入があるため、実際には約4万円の黒字である。
- ・育成事業では、技術士試験対策講習会、関水コン技術講座、本部提案型講習会は予算どおりであった。予算をほとんど付けていなかった「しぜん探検隊」は備品等を揃えたため約12万円の予算超過となった。天候不良のため延期となったが、本部より約8万円の助成金を受け入れ、備品等は今年度に使用する予定である。
- ・災害時支援では、当初予算がないが、災害時支援協定の締結に伴い、災害訓練、災害協定等の説明会を開催したため約3万円の予算超過となり、公益目的事業全体では、約19万円の予算超過となった。
- ・資質向上では、施設見学会は休止し、コンプライアンス講習会の講師謝金等で約2万円の予算超過となった。
- ・厚生活動は、若手懇談会の開催が次年度にずれ込んだため、約22万円の予算余りとなり、収益事業等全体では、約20万円の予算余りとなった。
- ・全体協議会及び運営委員会はそれぞれ約12万円の予算超過となっているが、いずれも懇親会参加費で約17万円の収入があるため、実際にはそれぞれ約5万円の黒字である。

- ・支部事務局管理費は、事務長の引き継ぎに伴い約44万円の予算超過となり、法人会計全体では68万円の予算超過であった。
- ・以上より、平成30年度の実質支出合計は予算に対して約68万円超過の約552万円となった。

### ③ 決算のまとめ

- ・収入約637万円に対して支出は約552万円となり、約85万円の黒字となった。

議長が第1号議案と第2号議案を合わせて採決し、異議なく承認された。

### (3) 第3号議案 支部運営細則の一部改正について

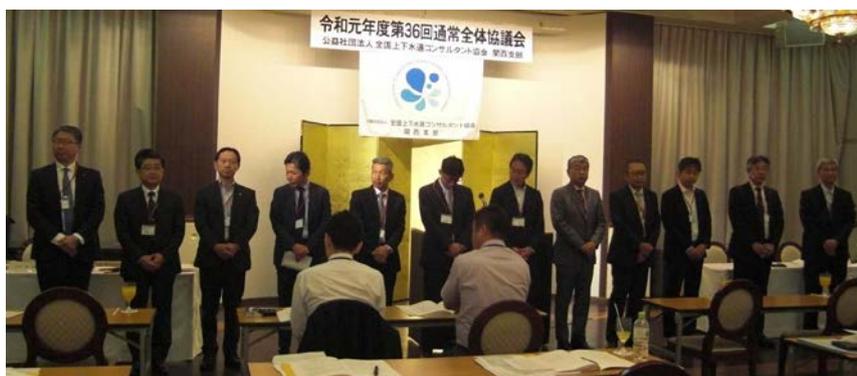
依藤総務部会長より、部会長の選任に関する支部運営細則の改正について、2月28日開催の第330回運営委員会において審議し承認されたことが報告され、異議なく承認された。

### (4) 第4号議案 役員互選報告

司会者から、新役員による互選の結果、北支部長、田中副支部長、今野副支部長、依藤副支部長及び9名の幹事の体制が決定したことの報告を行った。

また、運営委委員会において、支部運営規則第20条に則り、顧問の選任を行い、前副支部長で株式会社日水コン大阪支所審議役の井本敏様に委嘱することを報告した。

役員変更となる株式会社日水コンの今野副支部長、株式会社東京設計事務所の神保幹事、日本水工設計株式会社の秦幹事、パシフィックコンサルタンツ株式会社の藤原幹事からの挨拶があった。



新役員を代表して、北支部長が、「新たに4人のパワフルなメンバーを迎えて、これまでのチームワークを更に強め、本部とも連携しながら新たな課題に挑み、新しい仕組み作りでしっかりと成果を出し、皆さまのお役に立つとともに協会の社会性・信頼性の向上、プレゼンスの向上につなげて参りたい。」旨の挨拶を行った。

## (5) 関西支部事務所の移転について

北支部長より、これまで構えていた独立した支部事務所を、株式会社三水コンサルタント社屋内に、7月に移転することの報告があった。

事務所経費の削減や災害時支援対応の円滑化などを図ることができ、支部事務所としての機能はこれまでどおりである旨の説明を行った。

## (6) 第5号議案 令和元年度事業計画及び予算

### 1) 令和元年度事業計画

北支部長から、令和元年度事業計画について議案書に沿って方針趣旨説明を行い、会員各社への一層の理解と支援を求めた。

### 2) 令和元年度支部活動計画

続いて、田中副支部長が令和元年度支部活動計画を説明した。説明の主旨は次のとおり。

- ・公益目的事業として『育成』『調査研究』『災害時支援』の3事業を推進する。
  - ① 育成－講習会（公開型）：例年どおり、上下水道に関わる各種講習会の開催や、地方公共団体からの要請に応じた講師派遣を予定している。また、水質保全における上下水道の整備効果の普及啓発イベントを開催して知名度向上を図る。
  - ② 調査研究－社会貢献活動：ホームページの充実や、協会誌「水坤」（夏号・新春号）の配布を行う。
  - ③ 災害時支援：災害復旧に貢献できるよう、連絡会議への出席や、講習会及び訓練の実施など、支援体制の充実を図る。
- ・会員各社に直接的に役立つことに配慮し、収益事業等として『資質向上』『要望活動』『厚生活動』の3事業に取り組む。
  - ① 資質向上：「働き方改革関連法案とその対策についての講習会」の開催や施設見学会の開催を行う。
  - ② 要望活動：関係官公庁との意見交換などの要望活動や名簿等配布のPR活動を行う。
  - ③ 厚生活動：人材確保支援のための懇談会などの厚生活動を実施する。
- ・会議・委員会については、10部会及び運営委員会を効率的に機能させ、支部活動のかじ取りを行い、各種事業の推進を図る。

### 3) トピック紹介

西宮市の仁川学院中学校からの要請に応じて、5月11日（土）に2名の講師を派遣したことについて、今野副支部長より報告があった。

### 4) 令和元年度予算

続いて、高橋事務長が令和元年度予算(案)について説明を行った。説明の要旨は次のとおり。

#### ① 収入

- ・会費収入は、平成30年度実績と同額の約510万円と見込む。
- ・交付金は昨年度実績から、「しぜん探検隊」の助成金の6万円を減じた61万円とする。
- ・講習会の公共団体参加費を無料とすることで、約4万円の減とする。
- ・単年度収入を約645万円と見込む。これは平成30年度実績約637万円に対して約8万円の増となる。

#### ② 支出

- ・育成、要望活動、調査研究等の公益目的事業への支出は、平成30年度実績より約21万円増の約189万円の計画とする。
- ・資質向上、厚生活動等の収益事業等への支出は、コンプライアンス講習会の講師料等の約12万円増と、前年度からずれ込んできた若手懇談会の講師料等の33万円の計上などで、平成30年度実績より約42万円増の61万円の計画とする。
- ・法人会計支出は、事務所移転の費用で約18万円の増、歓送迎会の費用が約3万円の減と見込み、380万円の計画とする。
- ・令和元年度支出合計を平成30年度実績約552万円より約78万円増の約630万円の計画とする。

#### ③まとめ

- ・単年度収入予算約645万円に対し、支出予算は約630万円となり、約15万円の黒字予算とした。

### 5) 役員・部会員等構成

北支部長が、議案の役員・部会員等構成に沿って、令和元年度の支部体制及び10の部会並びに本部理事、本部委員会、部会、本部小委員会の活動体制について説明した。

議長が第5号議案について採決し、異議なく承認された。

## 7. 議長降壇挨拶

北支部長が全体協議会議事進行への協力に対するお礼を述べ、降壇した。

## 8. 閉会

最後に、司会者が閉会の宣言を行い、懇親会の案内をして、第36回通常全体協議会は滞りなく終了した。

## 9. 懇親会

メルパルク大阪 5階 ル・マノワール  
(16:00～17:30)

来賓挨拶・乾杯  
水コン協本部 萩原常務理事



懇親会参加 38名の皆さん



恒例となりました、  
井本顧問の「大阪締め」  
による中締め